

主体的な学びを実現させる授業の創造  
～「むかいひがし」の対話を活かして～

【教科横断的なカリキュラムマネジメント】

課題を克服するために効果的な教科等を関連させる。

【つかむ】 課題把握・つかむ

- ・前時の振り返りを共有し、新たな問い合わせる
- ・与えられている情報と問われている内容を把握する
- ・絵、グラフ、表など様々な資料の種類に出会う
- ・絵、図、数直線に表して理解する

教材との対話

【考える】 自力解決

- ・既習を活用しようとする
- ・言葉と式、図を関連付けながら説明、表現する
- ・複数の考え方や説明方法を見つける
- ・考え方のよさを見つける

自分との対話

【深める】 協働的に学ぶ

- ・友達の考えを聞いて、見通しをもつ
- ・友達に分からぬことを尋ねる
- ・友達の分からぬことを捉えて教える、相談する
- ・自分と友達との考え方を比較、分類、関連付けて話し合う
- ・友達の考え方や説明を聞いたり、話し合ったりするなかで、よりよい考え方や説明の方法にたどり着く

友達との対話

【まとめる・ふりかえる】 まとめ・振り返り

- ・評価問題で確かめ、納得する
- ・学びを捉えなおす（算数用語を活用し、自分の言葉で）
- ・自己の変容に気付く（自己有用感・自己肯定感の向上）
- ・資質・能力の向上に気付く（教科の枠を超えた学びを得る）
- ・新たな課題の発見（知的好奇心の喚起、学習意欲の継続）

自分との対話

主体的・対話的な学び「むかいひがし」